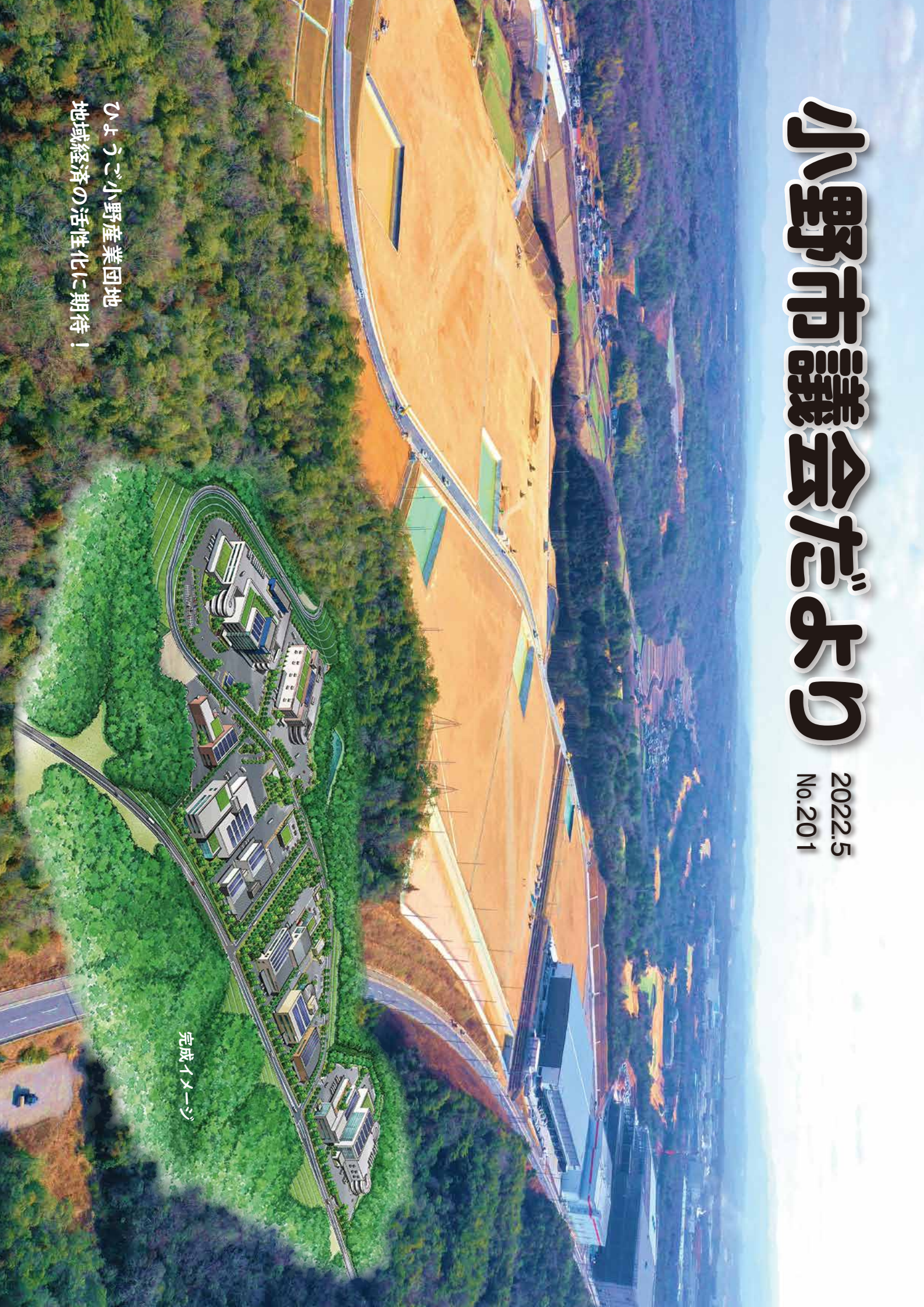


小野市議会だより

2022.5
No.201

完成イメージ

ひょうご小野産業団地
地域経済の活性化に期待！



一部事務組合議会報告

北播磨総合医療センター企業団組合



小野・三木

組合議員

藤原 貴 希
松永美由紀
久後 淳 司
藤原 章
小林千津子

病床削減（コロナ対応）による経営悪化の懸念から設置された「経営改善プロジェクトチーム」を中心に経営改善の取り組みを行った結果、令和2年度下期の経常収支は、コロナ関連補助金を除いてほぼ均衡になるまで改善されてきた。また、MRIの増設や駐車場の拡張など、医療環境の充実が図られた。

小野加東加西環境施設事務組合



小野・加東・加西

組合議員

村本 洋子
喜始 真 吾
前田 光 教

新たなごみ処理施設の検討に入っており、令和3年4月より、各市から担当者1名を派遣し、視察調査等を行い、令和4年2月議会において新施設における基本理念・基本方針が示された。基本理念は、「周辺環境と融和し、資源循環型社会に資する施設」とし、迷惑施設から脱却した「地域に親しまれ、開かれた施設」を目指すとしている。

北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園



小野・西脇・加東・加西

組合議員

河島 泉
高坂 純子

小野市は3月末にて脱退するため、令和4年度の市負担金はなくなる。
（令和3年度実績 21,572千円）

市町村は、少子高齢化や情報化の進展など、多様化・高度化する行政課題への対応に迫られています。事業によっては広域的に連携することによって、効率的でさらに質の良い事務処理が可能となります。
広域連携の中でも一部事務組合は、複数の地方公共団体が行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織で、小野市は5つの組合に加入しており、議員が各事務組合議会の議員を務めています。
令和3年度の活動について、各組合議員から報告がありました。

ご存知ですか？
広域連携



小野加東広域事務組合



小野・加東

組合議員

平田 真 実
山本 悟 朗
河島 信 行

湧水苑の老朽化に伴う空調整備改修は、令和3年度で完了した。令和4年度は大きな改修工事は予定されていないことから、各市負担金は大幅な減額（▲17,168千円）となっている。

北播磨衛生事務組合



小野・加東・西脇

組合議員

平田 真 実
山本 悟 朗
河島 信 行

令和3年12月10日より、し尿・汚泥の希釈による下水道放流を開始、現時点では希釈のための水量も確保されており、搬入量の全てを下水道放流している。下水道放流により15年間で10億円のコスト削減を目標としている。

提出議案と審議結果

★全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第1号	令和3年度小野市一般会計補正予算（第9号）
条例	第2号	小野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

- 対象施設
市内保育所、認定こども園14施設
- 事業開始
令和4年2月から



**一般会計補正予算（議案第1号）
保育士の処遇改善を**
新型コロナウイルス感染症の最前線で働く保育士等の処遇改善のため、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提に、国からの補助金を活用して収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための費用を補助します。



ご寄附いただいた神内良子氏へ
感謝状贈呈

子どもたちのために
加東市在住の神内良子氏から子どもたちのために活用して欲しいと、小野市へ2億円の寄附をいただきました。寄附者の意向に沿い、開園20周年を迎えたひまわりの丘公園に大型遊具を新設し、関西最大級の遊具広場を整備します。
障がいのある無にかかわらず、誰もが一緒に遊べる「インクルーシブ遊具」の設置も想定し、より一層公園としての魅力を向上させることで地域の活性化に繋がります。
今年のクリスマスには子どもたちへお披露目の予定です。

別表：年額報酬

	改正前	改正後
団 長	213,000円	213,000円
副 団 長	144,000円	144,000円
分 団 長	123,000円	123,000円
副分団長	50,000円	50,000円
部 長	28,000円	45,000円
班 長	20,000円	40,000円
団 員	15,000円	36,500円

※部長以下を今回改正

**（議案第2号）
消防団の機能充実を**
自然災害が多発化・激甚化する一方で、特に若い消防団員が大幅に減ってきているのが現状です。
そこで、地域防災力の充実強化を図るため、部長以下の団員の年額報酬を引き上げ、災害時の出勤報酬を設けることにより団員の士気向上及び若手の確保並びに消防団の機能充実を目指します。

● 災害時出勤報酬 1日8,000円
（4時間未満 4,000円）
● 年額報酬（別表のとおり）

第434回
1月
臨時会

会議期間1日間
（1月26日）

市長提出議案：2件（補正予算1件・条例改正1件）



第435回 3月 定例会

(2月25日～3月25日)

市長提出議案…21件
(当初予算7件・補正予算5件・条例改正6件・その他3件)
議員提出議案…1件 (決議1件)
計22件

審議議案の中から PICK UP!!



一般会計補正予算第10号(議案第10号)
待望の日よけシェルター設置
利用者から要望の多かった、小野希望の丘陵上競技場アレオのスタンドに国の補助金を活用して日よけ等のための屋根を整備します。
設置場所 トイレ棟横スタンド
規模 幅 23.6m 奥行 7.9m 高さ 5m

(議案第16号)
国保税限度額引き上げ 子どもの均等割軽減
国民健康保険税は、国民健康保険に加入されている方の医療費を賄うために、加入されている方に負担していただく税です。医療の高度化などにより医療費は増加しているため、高所得者に応分の負担を求めると、課税限度額を引き上げます。
一方、小学校に入るまでの子どもに係る均等割額を5割軽減することで、子育て世帯の負担を軽減します。
(議案第17号)
高校3年生まで医療費完全無料化を継続
子育て世帯の経済的負担を軽減するため医療費の完全無料化を令和7年3月31日まで引き続き行います。

(議案第23号)
大型複合遊具の整備進む
ひまわりの丘公園に整備を予定している大型複合遊具と幼児用複合遊具の整備事業者が決まりました。工期は令和4年12月23日まで。契約金額は1億5,400万円、相手方はタカオ(株) (広島県福山市)

大型複合遊具イメージ



提出議案と審議結果



★全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
新年度予算	第4号	令和4年度小野市国民健康保険特別会計予算
	第5号	令和4年度小野市介護保険特別会計予算
	第6号	令和4年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
	第7号	令和4年度小野市都市開発事業会計予算
	第8号	令和4年度小野市水道事業会計予算
	第9号	令和4年度小野市下水道事業会計予算
補正予算	第10号	令和3年度小野市一般会計補正予算(第10号)
	第11号	令和3年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	第12号	令和3年度小野市水道事業会計補正予算(第2号)
	第13号	令和3年度小野市下水道事業会計補正予算(第2号)
	第22号	令和3年度一般会計補正予算(第11号)
条例	第14号	小野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第15号	小野市個人情報保護条例及び小野市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第16号	小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
	第17号	小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第18号	小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第19号	小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
その他	第20号	小野市道路線の認定について
	第21号	小野市道路線の変更について
	第23号	ひまわりの丘公園大型複合遊具等整備業務請負契約について
	委員会提出第1号	ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議

★賛否が分かれた議案と審議結果

議案名等	会派名 議員名	議決 結果	賛 成	反 対	市民クラブ					紡ぐ未来				公明党		共産党	無党派	
					高坂純子	河島三奈	松永美由紀	前田光教	小林千津子	岡嶋正昭	久後淳司	喜始真吾	藤原貴希	河島泉	平田真実	山本悟朗	村本洋子	川名善三
予算 第3号 令和4年度 小野市一般会計予算		可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	●	●

※1 川名善三議員は、議長のため表決権はありません。 賛成=○ 反対=●

市議会がcheck✓!!

令和4年度 予算審査

ひまわりの丘公園リニューアル 5億3,200万円

4月に開園20周年を迎えるひまわりの丘公園に寄附金を活用し、大型複合遊具や幼児用遊具の新設、既存遊具の改修を実施するなど、関西最大級の遊具広場を整備。トイレ棟の増築や園路改修、公園南側に駐車場を増設し、魅力あふれる公園にリニューアルします。

誰もが遊べるインクルーシブ遊具の設置で公園としての魅力アップ!



デマンドタクシーの運行について

高齢のため、自家用車での移動や、駅やバス停までの徒歩移動が困難な交通弱者に対し、「らんらんバス」を補完し、日中の通院や買い物、公共施設等への柔軟な移動手段を提供する福祉政策として運行を実施します。

対象者の拡大など、より多くの高齢者等が利用できる制度として欲しい。

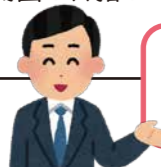
よろしく願います



新幼稚園整備について

時代に即応した効率的な幼稚園運営を実施するため、わか松幼稚園と小野東幼稚園を統合し、わか松幼稚園敷地内に新たな幼稚園を設立します。令和8年4月の開園を目指します。

令和4年度は、基本設計や耐震診断を進める予定。



図書館自動貸出システム 経費4,000万円

ウィズコロナ時代を見据えた図書館サービスとして、所蔵資料のICタグ貼付け自動貸出機と自動返却機の設置、出入口にセキュリティゲートの設置等で、混雑緩和や業務の効率化を図ります。

図書は市民の財産! システム整備で管理の徹底を。



通学路等の道路改良について

多くの児童・生徒が通学路として利用する片山町、葉多町の市道107号線や、船木浄水場南側の市道116号線交差点などの道路改良を実施し、ガードレールや標識の設置などにより、子どもたちや地域住民の安全を確保します。

安心
安全



一般会計予算についての議会での討論

コロナの長期化により影響を受けている生活弱者への支援をもっと充実した予算にすべき。

特に、令和3年9月の第432回定例会で何らかの対策を考えて行きたいとの答弁があったが当初予算には反映されていない。

デマンドタクシー事業は目玉施策であるが、個人負担が必要。高齢者にもっと優しい施策であるべき。

反対意見

予算は、一つの事案だけではなく広義的にとらえ、市政全般を見るべきであり、反対するのであれば修正動議を出すべき。

令和4年度予算は、市全体の活性化を目指しており、すべての世代に公平な配分となっている。

賛成意見

多様化する生活課題に対し、全てを行政に頼るのではなく、お互いに助け合う社会を構築することで持続可能な社会の実現を目指したポストコロナを見据えた予算案である。

また、反対意見は、具体的な事業内容や財源を含めた対案を示して述べるべき。

令和4年度当初予算に係る7議案について、予算決算常任委員会へ付託し、3月17日、18日の2日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、日程を短縮し、質問項目を事前通告制にして簡潔な説明を求めました。

反対討論もありましたが、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定しました。

~安心して住み続けられるまち“おの”を目指して~

予算額

一般会計	230億0,000万円
特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	103億1,900万円
企業会計 (都市開発事業・水道事業・下水道事業)	58億9,570万円
合計	392億1,470万円

将来にわたり
持続可能な財政を
堅持しながら、

不景気な時こそ
超積極型予算!!



5本の柱と主な事業

①未来を見据えたポストコロナへの対応

- <新規>地域脱炭素移行・再生可能エネルギーの推進 4,500万円
- <新規>DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 1億7,960万円

②地域活力と健康・生きがいの創造

- <新規>デマンドタクシーの運行 720万円
- <拡充>老人クラブへの助成 800万円

③安全・安心に暮らせるまちの創造

- <新規>かわまちづくり事業 3,520万円
- <新規>がん患者アピアランスサポート 100万円
- <拡充>消防団員報酬 2,980万円

④子育て支援・教育環境の充実

- <新規>新幼稚園の整備 1,700万円
- <拡充>子宮頸がん予防接種 5,140万円
- <新規・継続>旭丘・小野南中学校の長寿命化改良 3億3,600万円

⑤快適で高質な都市空間の創造

- <新規・継続>ひまわりの丘公園リニューアル整備 5億3,200万円
- <継続>図書館東市街地開発整備 1,000万円



ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
9人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めていません。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



村本洋子議員（公明党）



4月から「18歳成人」賢明な消費者に

答弁 発達段階に応じて消費者教育、金融教育を実施

質問 小中学校での消費者教育について

答弁 夢を持ち、未来を拓く視点での消費者教育、金融教育が求められている。すでに市民安全部と連携し授業を行っているが、民間団体や企業等と連携した実践についても研究を進める。

質問 消費者トラブル防止への啓発について

答弁 広報誌などを活用した市民への周知、教育委員会や学校関係と連携した学生への講習会の継続。被害相談などに親身かつ迅速的確に対応。悪質な事案には警察との連携も図る。

(市当局)

デジタル分野における女性の就労支援について

質問 デジタル分野は、感染症の影響を受けにくく、好きな場所、好きな時間で働くことができ、コロナ禍で苦しい状況の打開につながる。国

自治会業務のデジタル化支援について

答弁 自治会内でのコンセンサスを得ていくことが必要。その上で、自治会からの声ができれば、できる限りの協力をする。

※コンセンサス＝意見の一致

(市当局)

平田真実議員（紡ぐ未来）



新幼稚園整備の内容は

答弁 令和8年開園目指し今後具体的に協議する

質問 新年度予算、新幼稚園整備費用1,700万円の具体的な内容は、

答弁 統合再編方針の中で、まず補助金採択に必要な耐震診断と、基本設計に着手する。駐車場確保の課題はあるが、現時点の統合場所として「わか松幼稚園跡地」を想定している。

(市当局)

質問 公立幼稚園を残す必要性や公立幼稚園にしかできないことは何か改めて問う。

答弁 脳科学理論を基盤とする16歳年教育を実践する上で、市がセンタ―コントロールできるモデル校として公立幼稚園は必要である。元学校長など、脳科学に基づく教育を熟知した管理職を園に配置しており、切れ目のない小学校との連携や合理的配慮の提供等、公立としての役割を果たしていく必要があると考えている。

(教育長)

GIGAスクールプロジェクトについて

質問 教職員の端末の持ち帰りや、濃厚接触者等、元気が登校できない児童生徒に対し、オンライン授業を行うことについて市の考えは。

答弁 教材作成等に使用するGIGA端末を教職員が持ち帰ることは今後検討すべき課題である。クラス全体でのオンライン授業は有効だが、ハイブリッド方式の対応には様々な課題が残っており、慎重に判断すべきである。プリント等をお届けするというこれまでの方法も進めながら、個別の状況を十分に踏まえ検討していく。

(市当局)

※ハイブリッド方式とは、二つの異なる仕組みを組み合わせた方式。
ここでは教室での授業とオンライン授業の二つを指す。

村本洋子議員（公明党）

4月から「18歳成人」賢明な消費者に

答弁 発達段階に応じて消費者教育、金融教育を実施

質問 小中学校での消費者教育について

答弁 夢を持ち、未来を拓く視点での消費者教育、金融教育が求められている。すでに市民安全部と連携し授業を行っているが、民間団体や企業等と連携した実践についても研究を進める。

質問 消費者トラブル防止への啓発について

答弁 広報誌などを活用した市民への周知、教育委員会や学校関係と連携した学生への講習会の継続。被害相談などに親身かつ迅速的確に対応。悪質な事案には警察との連携も図る。

(市当局)

デジタル分野における女性の就労支援について

質問 デジタル分野は、感染症の影響を受けにくく、好きな場所、好きな時間で働くことができ、コロナ禍で苦しい状況の打開につながる。国

自治会業務のデジタル化支援について

答弁 自治会内でのコンセンサスを得ていくことが必要。その上で、自治会からの声ができれば、できる限りの協力をする。

※コンセンサス＝意見の一致

(市当局)

高坂純子議員（市民クラブ）



小野市内の独居高齢者約1,900人!

答弁 独自のチェック機能を持つ組織について議論中!

質問 小野市緊急通報事業の課題と今後の方向性について

答弁 緊急通報装置は必要とする方に確実に利用していただくため、行政からのPR・民生児童委員や在宅介護支援センター等の機能強化が必要と考える。

(市当局)

神戸電鉄粟生線の存続支援について

質問 兵庫県が事務局となる「神戸電鉄粟生線存続検討会議」が設立された。市民も「自分ごと」として捉えることが大事と考えるが。

答弁 いかにして存続させるかだが、乗客を増やすのは一つの手段であり、乗客が減っても収益が上がるような経営が成り立てば存続できる。そういう議論を詰めていかなくてはいけない。

(市長)

(市長)



ご存知ですか？緊急通報装置

河島 泉議員（紡ぐ未来）



生まれ変わるひまわりの丘公園

答弁 関西最大級大型遊具広場オンリーワンの公園へ

質問 普段よく利用されている付き添いの母親、高齢者、障がい者の意見を聞く予定は。

答弁 業者を決定し、細かなところは市民の意見も取り入れて、最終段階の決定をしていきたい。（市当局）

質問 新設駐車場予定地は、ひまわり等の植ええられる場所となっているが、今後の植栽予定は。

答弁 植栽面積は減る。将来的に総合的リニューアル等を計画している。（市当局）



よろしくお願いします

質問 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園脱退後の新たな支援体制は。

答弁 重度障がい児に対しては兵庫あおの病院、中・軽度の障がい児に対しては「小野ゆらんこ敷地町」、「りんごの木（浄谷町）」の2施設でスタートする。（市当局）

質問 外来受診は高額になるとのことだが、市の補助についての考えは。

答弁 保育所、幼稚園と並行して新施設を利用するのが一般的。健診等で発達における指摘を受けた時は、子育て支援課が無料で行っている「親子ふれあい教室」等に対応している。（市当局）

前田光教議員（市民クラブ）



どうなる？ 森林・山林の管理！

答弁 所有者責任、危険木伐採に補助金スタート！

質問 森林は、治水・環境・有害鳥獣・災害等、市民生活に関連深い。令和6年度から本格課税となる森林環境税に先駆けての森林環境譲与税（歳入）を活用した、今後の森林管理について問う。

答弁 原則は所有者の管理責任となる。現在は遊歩道の樹木の伐採等を行っている。令和4年度からは、自然災害等で住宅等への倒木被害を防ぐため「危険木伐採補助金」をスタートさせる。（市当局）

雇用の創出、住宅地は大丈夫？

質問 ひょうご小野産業団地は、約500人の新たな雇用を予定しているが、雇用の創出を契機とした空き家等斡旋、また、未来に向けた住宅地確保について問う。

答弁 現在、約600戸の空き家が存在するが、積極的に関与し、調整

コロナ禍で児童の子育て、影響は？

質問 その年齢、その年次にしか体験できない思い出が閉ざされている就学前の児童、メンタル的なサポート支援の考えについて問う。

答弁 現在、医療費・保育料等の無料化はスタンダードとなっている。現在をゼロベースと考え、子育て支援諸施策を再検証し、アフターコロナにおける新たなスタンダードの創出が求められていると考えている。（市当局）

小林千津子議員（市民クラブ）



ふるさと納税制度と産業振興について

答弁 新商品の開発に力を入れる

質問 新たな返礼品発掘で地域の活性化を。

答弁 現在の登録業者は53社、登録返礼品数は550件。市内の産業振興に大いに貢献していると考えているが、近隣市との格差は大きい。新たな返礼品の開発には、市と協働で進め、商品のPRや販売数向上に積極的に支援、登録業者には、申請方法から各種手続き等についても支援する。（市当局）

質問 下東条地域にはおいしいお米と野菜が豊富。農家の方は個人で販売先を開拓、ネット販売や会社の同僚等に声かけをして販売ルートを確保、農業を守られている。これらを「ふれあいマーケット」で集約し、返礼品として地域の活性化に繋がらないか。



下東条産の米と野菜

答弁 「ふるさと納税による財源をあてにしない行政経営」という姿勢は変わらないが、新しい産業、特産品を生み出すプロセスに意義があり、そのための支援は積極的に行っていく。（市長）

久後淳司議員（紡ぐ未来）



子宮頸がんワクチンへの判断は

答弁 市からの情報を基に、接種の「自己選択」を

質問 国の方針で定期接種の積極的な勧奨が差し控えられていたが方針変更し、本事業は小学校6年から高校1年までの女子への積極的勧奨を再開した。接種することのメリット・デメリットや、どのような安全性の評価がされた上での再開で、接種をすることのリスクはないのか。

答弁 国の専門部会で審議され、有効性が副反応のリスクを上回るとして再開し、海外での大規模調査では予防効果が9割とのエビデンスもある。リスクとして接種後の多様な症状の報告は1万人あたり10人で、よく理解しないまま接種し局所に大きな疼痛を受けることが身体的機能障害の要因になる。個別通知等による丁寧な説明により、リスクを最小限にできると考えている。（市当局）

質問 接種するかしないかの判断について、あくまで接種対象である本人が行うことで問題ないか。

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は
 このご案内の内容をもっと詳しく説明している「HPVワクチンについて知ってください」
（詳細版）や、その他のご案内をご覧ください。

正しい知識でしっかりと「自己選択」を！

河島 信行 議員 (無党派)



運転免許証返納者にタクシー無料券発行

答弁 らんらんバスやデマンドタクシーの利用を！

答弁 10月から「デマンドタクシー事業」を開始する。タクシー料金の50%程度を補助する事業で、運転免許を持たない75歳以上の方と要介護認定者が対象。通院や買い物の移動に利用でき、予算は720万円。議員提案の「タクシー無料券の発行」は、徒歩移動の困難な方に便利な交通機関ですが、公平性の確保が難しく不正利用の懸念もあり、無料券発行の実施は考えていない。(市当局)

旭丘中学校のリニューアルについて

答弁 令和4年度より基本設計に着手。令和5年度から2年間で工事を実施。体育館改修工事は実施を検討している。(市当局)

教員の指導力アップのための研究体制構築について

(この質問の目的は、子どもたちの学力の向上です。)
答弁 先生方の真摯な教育実践と保護者の皆さまの協力で学習成果が現れている。今後も、子どもたちの学力向上や不登校問題、生徒指導、特別支援教育等、指導力アップを含め積極的に取り組む。(市当局)

質問 「らんらんバスのバス停」へのベンチ及び、屋根の設置について

答弁 全てのバス停にベンチや屋根の設置は理想だが、道路脇のバス停への屋根の設置は、制限される場所が多く困難である。市民から場所提供があれば検討する。現在、イオン、電鉄小野駅、ゆぴか、北播磨総合医療センター、エクラ、中町(旧市民病院前)等には設置されている。(市当局)

常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》 (令和4年度予算審査はP6～7もご覧ください)

3月17日・18日開催
付託議案数：7件(議案第3号～9号)
審査結果：議案第3号以外に反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。議案第3号令和4年度小野市一般会計予算については反対討論があり、採決の結果賛成多数をもって可決すべきものと決定。



●主な審査内容
議案第3号について
・防犯灯倍増5000作戦から継続して自治会の自主性を喚起しながら推進されている防犯灯新設工事については、従来であれば設置が難しい箇所についても、その必要性から積極的に取り組むものである
・兵庫県においては行革の対象として捉えられている老人クラブへの助成については、高齢者の社会参加や生きがい創出など高齢者施策の充実を図る観点から市として増額するものである

《総務文教常任委員会》

3月23日開催
付託議案数：3件(議案第14号～15号・19号)
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



●主な審査内容
議案第14号について
・育児休業を取得できる非常勤職員について、1年以上在職という要件を廃止し、より育児休業を取得しやすい環境を整備しようとするものである

《民生地域常任委員会》

3月23日開催
付託議案数：6件(議案第16号～18号・20号～21号・23号)
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



●主な審査内容
議案第23号について
・プロポーザルによる業者選定の過程において、子育て経験のある市民委員2名の意見を取り入れ、利用者の視点が十分に反映されたものである

藤原 章 議員 (日本共産党)



コロナ禍、弱者支援の予算を

答弁 一呼吸おいて、効果的な支援を考える

質問 自粛事業者とともに、非正規の人は大きな影響を受けている。弱者支援を予算化するべきだ。

答弁 市民から新たなコロナ対策を求める声はない。一呼吸おいて、次は何をすべきか考える。(市長)

後期高齢者医療保険窓口負担の2割化に対策を

質問 10月から後期高齢者医療の窓口負担が2割になる人がある。予想人数と影響及び対策を問う。

答弁 小野市で2割負担になるのは1,500人程度と予想される。受診控えや病気が重篤化する懸念があり、3年間の経過措置が採られる。(市当局)

農業に関連する諸問題

質問 国の水田活用直接支払交付金の見直しを問う。

答弁 5年間一度も水張りが行われない水田は交付されなくなる。また、飼料用米の加算額が半分になり、新規は対象外になる。

質問 多面的機能支払交付金の運用は改善できないか。

答弁 農家や地域からの要望を踏まえ、国や県に要望する。(市当局)

質問 農地中間管理機構から受託した「担い手」が営農できなくなった場合の市の対応を問う。

答弁 実情を確認して、ひょうご農林機構と対応する。(市当局)

質問 農家が「いちゃん困っているイノシシ」など有害鳥獣対策を問う。



答弁 「捕獲」と「防護」を基本に、さらに充実を図る。(市当局)

民生地域常任委員会行政視察報告

令和4年2月9日(水)

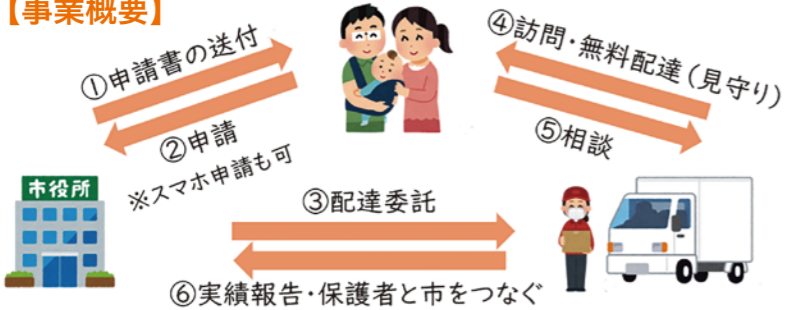
①0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について

明石市をオンライン視察!!

【事業目的】

0歳児家庭に定期的に出向き(アウトリーチ)、見守りを続けることで孤立させず早期の支援に繋げていく

【事業概要】



- ・保護者や赤ちゃんとお会いしきっかけとして赤ちゃん用品と子育て情報誌を毎月無料で届ける
- ・市内に住所を有する0歳児及びその保護者
- ・生後3か月から満1歳の誕生日まで10回配達

【現在の状況】

- 申請率は99.5%
 - 保護者との対面は84.2%
(対面できなかった場合は電話・メールで状況確認)
 - 赤ちゃんとの対面は59.1%
(具合が悪い、昼寝中などは対面していない)
 - 相談は52.2%
- ＜内容＞
- ・発育、発達
 - ・健康、身体のこと
 - ・家庭、生活環境
 - ・その他
 - ・基本的生活習慣(食事・睡眠等)

②障がい者施策 差別を解消する条例の取り組みについて

【手話言語・障害者コミュニケーション条例】

＜関連施策の実施＞

- ・市内市立小学校での手話体験教室
- ・職員に手話検定受験料やテキスト代助成
- ・手話通訳士等の資格を有する正規職員を採用
- ・手話フォンの設置、遠隔手話通訳

＜条例制定後の変化＞

- ・様々な障がい者団体との関わり、連携が増えた
- ・市の情報提供方法や窓口対応について改善を検討
- ・手話通訳者派遣人数の増大
(平成27年から令和元年にかけ約1.7倍)



【明石障害者配慮条例】

＜関連施策の実施＞

- ・合理的配慮の提供を支援 ⇒ 事業者や団体に必要な経費の助成
 - ・障がい理解の取り組み ⇒ ユニバーサルマナー検定受講
「こどもユニバーサル交流会」
パンフレット・広報を活用した啓発 など
- 相談対応 障がい者施策担当、発達支援センター等4つの窓口が連携相談受付⇒聞き取り⇒調整案の検討⇒両者の調整、合意

おむつ定期便は、孤立や虐待死など0歳児を養育する家庭の問題を早期に見つけ出し、支援していく事業として取り組まれており、事業開始から児童相談所に繋がったケースもあるとのこと、成果が表れている。このようなアウトリーチ型の支援は必要な方には心強い制度であるため、引き続き注視していきたい。

次に、障がい者施策について、情報アクセスの機会均等を全ての人に保障することは情報を提供する側の責務であり、例えば議会中継においても音声認識技術による字幕放送など、より多くの人に情報を届ける方法について検討する必要性を感じた。また、物理的な障がいだけでなく、慣行や制度など社会的障壁は気づきにくいいため、当事者や関係団体の声を直接聞くことにより、合理的配慮への理解を深めることが非常に重要であると改めて認識した。

全体を通して、「声がない」=「要望がない」ということではないとの認識をもち、行政側から声を聞きに行く明石市の姿勢には問題解決への意気込みを強く感じた。

総務文教常任委員会調査報告

令和4年2月7日(月)

小野市の広聴システムについて(市民サービス課)

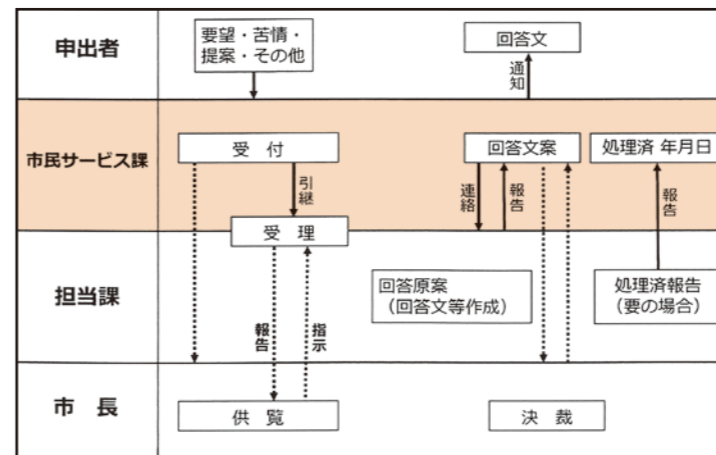
情報は市民の財産!

【ねらい】

- 市民の意見を市政へ反映させる
よりよい市としていくため、また、市民の行政参画を促すために重要
- 迅速な組織的対応
問題を放置しない、担当レベルで判断するのではなく市組織として対応
⇒職員の問題解決能力の醸成と意識改革



【仕組み】

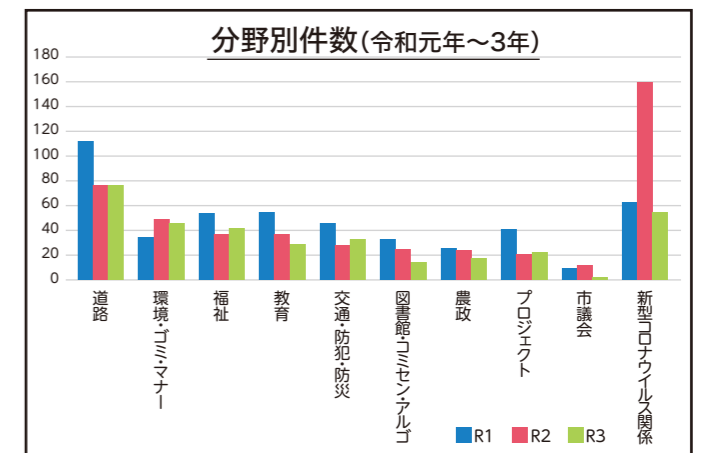


＜3つのポイント＞

- ①市長まで意見が届く
- ②多様な広聴手段
市長への手紙(毎年7~8月)
・市民が気軽に提言できる機会を設ける
・年間平均200件程度
・小野市流“オンリーワン”施策
- ③広聴システム
・市民サービス課でデータを一括管理

【近年の傾向】

	申出件数(R2年度)	100人当たりの件数
小野市	700	1.46件
三木市	170	0.22件
多可町	150	0.76件
西脇市	150	0.38件
加東市	70	0.18件
加西市	40	0.09件



- ★申し出件数は
市政に対する関心のバロメーター
- ★市への提言は市民参画の第一歩

・令和2年度は特に新型コロナウイルス関係の申し出が群を抜いて多く、内容としては学校に関するものが一番多かった。

市民からの申し出について全て市長が目を通してはいるところは少なく、情報は市民の財産と捉え、担当レベルではなく市組織として迅速に対応していることや、市民からの申し出件数は市政に対する関心のバロメーターであり、近隣市の中でも申し出件数の多い小野市においては、市民の市政への期待が高いといえることなどを確認した。さらにより良い小野市とするためには、市民の声を待つだけでなく、積極的に聴く機会をより多く設け、様々な声を市政に反映させることが重要であると考えている。市民の代表である私たち議員も、市民のための小野市であるということを改めて念頭に置き、多くの市民が市政に関心を持ち、参画しやすいまちとなるよう力を尽くしたい。

議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

☆5月臨時会日程☆

5月11日(水) 午前10時～

☆6月定例会日程☆

5月27日(金) 午前10時～
本会議(第1日) 議案説明

6月16日(木) 午前10時～
本会議(第2日) 一般質問実施

6月17日(金) 午前10時～
本会議(第3日) 一般質問実施

6月27日(月) 午後1時30分～
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月中旬に市議会ホームページに掲載します。



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所6階 議会事務局までお越しください。

議会と市民との懇話会

議員の質問が終わるごとに、質問や答弁内容について傍聴席からご意見をいただく機会を設けます。展開される議論にご注目ください。一般質問は6月16日(木)、17日(金)に行われます。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても YouTubeで会議中継



マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる6月16日(木)、17日(金)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。6月8日(水)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



議会傍聴者数

3月定例会1名

まん延防止等重点措置期間中は傍聴をご遠慮いただきました
(令和3年度累計74名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

あとがき

コロナ禍でマスク生活も2年を強いられ、心のどこからか小さな悲鳴も聞こえてきそうです。しかし、このような時だからこそ、自然の美しさや人々の温かさなど、見えてくるものもあります。力を合わせて乗り越えてまいりましょう。

さて、令和4年度予算を可決いたしました。市民の皆さまの税金を大切に使用していただくために200項目以上の事前質問を行なうなど細かくチェックを行いました。

見やすく！わかりやすく！手に取って読んでいただける情報発信ツール「小野市議会だより」はいかがでしたか。これからも皆さまに寄り添う紙面作成を心がけてまいります。皆さまからのご意見も頂戴できれば幸いです。

なお、次号からは新編集委員が作成する「小野市議会だより」のスタートです。ご期待ください！

(市議会報編集委員
高坂純子)

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。